

斜面工学研究小委員会第2回委員会議事録（案）

日時：平成26年10月31日（金）14:00～18:00

場所：土木学会 A 会議室

出席者（敬称略，順不同）：鈴木、大野、櫻井、美馬、ハスバートル、池田、上野、瀬戸、吉川、宇治原

報告

1. 新委員紹介

新委員の吉川委員より自己紹介がなされた。

2. 前回議事録の確認

鈴木委員長より第1回斜面工学研究小委員会議事録（H26年9月19日）の報告がなされた。

3. 重点研究課題の研究集会（12/17、13:00～17:00、地盤工学会大会議室）の案内

鈴木委員長より重点研究課題の研究集会「火山地域における土砂災害発生メカニズムと社会的対応に関する研究集会」の開催案内がなされた（概要は別紙参照）。是非ご参加ください。斜面工学研究小委員会からは稲垣委員が話題提供者となっており、大野委員も災害廃棄物関連で話題提供者になっていただく予定である。阿蘇山の事例に関する話題提供者は現在募集中である。

審議

1. 防災展2015（2/27～28、東京国際フォーラム）への出展

鈴木委員長より東京都主催の防災展2015について説明がなされた。

- 1) 開催日時 2月27日（金）～28日（土）
- 2) 開催場所 東京国際フォーラムのロビーギャラリー
- 3) 目的 一般の人に対して防災を広く伝えていく
- 4) 出展費用 無料
- 5) 費用補助 土木学会・社会コミュニケーション委員会より5万円程度補助
- 6) ブース 横2,000mm×奥行1,800×高さ2,100mm

東京都：<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/taisaku/1000060/1000427/index.html>

当委員会からは、模型実験を出展することで可決された。なお、土木学会事務局からブースへの来場者をカウントすることが求められており、アンケートを取る、チラシを配布した枚数でカウントする等の案が提案された。

2. 防災学習本編集WG

5章及び6章の進捗状況についての報告を行った。小学生にでも理解でき、誤解のない表現方法について、活発な議論がなされた。各章の責任者は、次回委員会で、ある程度完成させたものを報告することとする。なお、図や写真の引用許可については、出典をリスト化すると土木学会事務局から確認することも可能であるため、参考にする。

3. 斜面工学研究小委員会ホームページ

美馬幹事より第5期斜面工学研究小委員会ホームページのリニューアルについて提案があり、承認された。

4. H26 重点研究課題：伊豆大島・阿蘇山土砂災害現地調査

11/1～2 に実施する伊豆大島の調査地点及び調査内容を確認した。また、阿蘇山現地調査の日程 11/29～30 について確認した。

4. 次回の委員会開催日

第3回 平成26年12月予定

以上

火山地域における土砂災害発生メカニズムと社会的対応に関する研究集会

近年、日本国土の脆弱地盤の一つである火山地域において土砂災害が頻発しています。つい最近では2014年に御嶽山が噴火し多くの犠牲者を出しました。ここでは、2012年阿蘇地方、2013年伊豆大島などを代表例として以下の内容について討論します。

- 火山地域に特徴的な土砂災害発生メカニズム研究による工学的な防災・減災技術へと展開
- 土地条件を地盤リスクとして評価する社会的対応の視点から防災・減災対応へのつながりを議論
- 併せて日本国土の脆弱地盤の特質の研究と脆弱地盤に関する宅地の品質を検討する。

なお、本研究集会は（公社）土木学会 平成26年度重点研究課題「脆弱な火山国日本での土砂災害の発生メカニズムの究明と法制度も考慮した総合的防災・減災対策に関する研究」及び（公社）地盤工学会関東支部「設立10周年記念事業」の一環として開催します。

■ 研究集会

共 催	公益社団法人 土木学会 (担当：地盤工学委員会 火山工学研究小委員会、斜面工学研究小委員会)
共 催	公益社団法人 地盤工学会 関東支部 地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会
日 時	2014年12月17日(水) 13:00~17:00
会 場	地盤工学会大会議室（東京都文京区千石4丁目38番2号, Tel 03-3946-8677） https://www.jiban.or.jp/index.php?option=com_content&view=article&id=406&Itemid=262
プログラム (予 定)	(1) 開会挨拶 安養寺信夫 (一財)砂防・地すべり技術センター 「脆弱な火山国日本での土砂災害の発生メカニズムの究明と法制度も考慮した総合的防災・減災対策に関する研究」研究代表者 (2) 話題提供 (順不同、話題提供者調整中) ・ 火山地域の土砂災害の特徴 (阿蘇山, 伊豆大島をおもな事例として) 土石流発生条件, 流動特性, 規模などの工学的研究 ・ 火山地域の土砂災害発生メカニズムを解明するための課題 地質, 地形, 水工学, 土質力学などの知見に基づく提案 ・ 広域化する土砂災害を軽減するための社会的対応 (日弁連弁護士を予定) 法制度の技術的課題と運用方法の一案 国土脆弱性と宅地の品質に関する地盤リスク ・ 日本国土の脆弱地盤の特質の研究と脆弱地盤に関する宅地の品質 (3) 総合討論 ・ 今後の展開に向けて (4) 閉会挨拶 稲垣秀輝 (株)環境地質 地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会 委員長
参加費	無料
定 員	80名 (座席の関係・定員になり次第募集終了)
申込方法	下記の土木学会HPサイトからお申し込みください http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp (通信欄へ土木学会会員か地盤工学会会員かを必ず明記ください。) 参加券メールを返信いたします。 (印刷の上、開催当日に受付へご提示ください)

	【申込期限】12月9日(火)※定員に余裕がある場合のみ、当日会場でのお申し込みも受け付けいたします。
申込に関するお願い	(1) 申込締切前に定員に達している場合がございますので、予めご了承下さい。 (2) 申込後やむをえずキャンセルされる場合は開催の1週間前までに必ず申込先に連絡して下さい。

土木学会重点研究

火山地域における土砂災害発生メカニズムと社会的対応に関する研究集会

話題提供者の募集

12月17日(水)に予定されている標記研究集会の話題提供者を研究グループのメンバーから募集したいと思います。

発表時間は質疑を合わせて20分程度とし、できる限り広範に火山地域の土砂災害の特徴と対応策を議論できるような内容を多くの方々に発表して頂きたいと思います。

それぞれの発表内容はお任せしますが、下記のテーマに関連することを基本とします。

(2) 話題提供（順不同、話題提供者調整中）

- ・ **火山地域の土砂災害の特徴（阿蘇山、伊豆大島をおもな事例として）**
土石流発生条件、流動特性、規模などの工学的研究
- ・ **火山地域の土砂災害発生メカニズムを解明するための課題**
地質、地形、水工学、土質力学などの知見に基づく提案
- ・ **広域化する土砂災害を軽減するための社会的対応（日弁連弁護士を予定）**
国土脆弱性と宅地の品質に関する地盤リスク
火山地域での土砂災害の特徴と課題：稲垣秀輝（環境地質）
土砂災害での宅地の保険と保障：大串豊（M&K コンサルタンツ株式会社）
法制度の技術的課題と運用方法の一案
法制度の技術的課題と運用方法について：吉岡和弘（弁護士）
- ・ **日本国土の脆弱地盤の特質の研究と脆弱地盤に関する宅地の品質**
日本国土の脆弱地盤の特質：伊藤和也（労働安全衛生研究所）
脆弱地盤に関する宅地の品質：渡邊康司（大林組）

法制度や地盤リスクは自ら地盤工学会のメンバーの方々が中心となると思います。伊豆大島等の住民調査もこの社会的対応の中で発表して頂く予定です。

総合討論に30～40分程度当てるとすれば、話題提供数10～12件程度は可能でしょう（途中休憩時間を入れて）。

発表内容は発表者に一任したいと思いますが、上記の4項目について土砂移動発生条件とフィールドの違いや社会条件の相違を比較しながら、総合討論で火山地域の特徴を浮かび上がらせられる方向に持って行きたいと考えています。

なお、当日資料をまとめて配布予定なので、全国大会様式のレジメ作成をお願いすることになります。

研究代表 安養寺信夫